

2024年11月20日

No. 6 4 8

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 森 口 克 彦
印刷所 (株) 第一印刷

令和7年度畜産関係予算等要望活動

福島県畜産関係団体連絡協議会



写真中央 要請書を手渡す内堀雅雄知事（前列右）と紺野協議会会長（前列左）

県内18団体で構成する県畜産関係団体連絡協議会（事務局：福島県畜産振興協会）は、紺野宏協議会会長及び構成団体数名により9月17日県庁に訪れ、内堀雅雄県知事を始め県議会等に対し、次年度の畜産関係予算編成に向け要望活動を行った。

国際競争が激しさを増す状況の中、為替相場の急激な変動を受け、配合飼料、輸入乾牧草及び肥料等の諸資材の価格高騰の長期化や肉用子牛・枝肉価格の下落、牛乳・乳製品の需要低迷が重なり、畜産農家は極めて厳しい経営を強いられている状況により先行き不安から離農する農家が续出するなど、持続的に安心して取り組めるよう生産基盤等の再構築に向け要望した。

1 畜産生産基盤の再生拡大対策

経営者の高齢化、後継者不足、設備等の老朽化が顕在化しており、安定的な生産基盤の維持・拡大に向け、家畜及び先進技術の導入、さらには施設・機械の整備等に対する支援は必要不可欠であり、現下の非常に厳しい畜産情勢に対する支援及び大震災により脆弱化した生産基盤の再構築並びに持続可能な畜産経営の確立に向けた積極的な対策を講じること。

- (1) 酪農生産基盤維持対策
- (2) 肉用牛生産基盤安定確保対策
- (3) 養豚生産基盤安定確保対策及び野生イノシシの豚熱対策
- (4) 養鶏生産基盤安定確保対策
- (5) 畜産ICT機器等の導入および施設・機械等の整備対策
- (6) 避難指示解除地域及び避難休業畜産農家経営再開

対策

- (7) 大規模畜産施設の稼働に係る総合支援対策
- (8) ㈱福島県食肉流通センターの健全経営に向けた次期5カ年計画の適切な遂行への支援対策

2 配合飼料価格安定制度の見直し及び県独自の支援

現行の配合飼料価格安定制度について、飼料価格が現在のように高止まりし、継続して上昇した場合は、十分な補てんが受けられない仕組みとなっていることや補てん金の支出に時間を要することから、補てん機能が機動的に発揮されるよう、先を見据えた制度の見直しを国に働きかけや経営に及ぼす影響を緩和するため、輸入粗飼料を含む飼料購入コストを下げる県独自の支援の拡充を講じること。

3 自給飼料生産基盤強化対策及び堆肥等の流通対策

避難指示解除区域における飼料生産組織に対する営農再開支援、やむを得ず畜産経営を廃業した生産者に対する飼料生産への経営転換の推進、国が進める国内肥料資源利用拡大対策事業に取り組む協議会に対する積極的な支援および自給飼料の生産基盤強化に必要なコントラクター組織等が取り組む収穫機械等の導入・更新等への支援。また、国産飼料(子実用トウモロシ等)の生産拡大と安定確保に向けた機械等の導入への支援および県内外における稲わら確保に向けた情報の収集・提供、併せて供給体制の構築に向けた取組みに対する支援。

また、避難指示解除地域等における大規模畜産施設の稼働により大量に発生する堆肥や液肥を重要な肥料資源として位置づけ、その有効活用に向けた流通の仕組みづくり等に対する指導・支援を講じること。

4 肉用牛肥育経営安定対策（牛マルキン制度）及び肉豚経営安定対策（豚マルキン制度）の見直し

本県産牛肉については、原発事故後、風評によって他県産との価格差が今も続いている中、国は算定方式を都道府県単位から地方ブロック単位へ変更したことから、福島県の交付金単価は大幅に減額となり、経営継続が危機的状況にあるため、肥育経営の安定に向けて、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）については生産者負担を抑えるべく十分な予算を確保するとともに販売価格の県間格差に配慮した制度運用に見直しやセーフティネットであるマルキン制度（牛・豚マルキン）は、現下の配合飼料・乾牧草等粗飼料、燃油等生産資材の高騰等を考慮し、現場の実態を反映した制度設計に見直すなど生産者が経営継続できるよう緊急的な対応について国に働きかけてを行うこと。

5 県産畜産物の風評払拭並びに流通消費対策

本県畜産物への風評は根強く、畜産物が適正価格で流通されるよう、知事によるトップセールスの展開やマスメディア等を有効に活用し、消費者及び流通・小売業者等に対し、行政による正確な情報発信と理解醸成による風評の払拭並びに観光関連業者等との連携強化や地産地消と幅広い世代を対象とした食農教育を推進するなど消費拡大のための対策強化。本県産畜産物の福島ブランドの再構築に向け、食の安全を保証する第三者認証GAPの取得およびHACCP導入に向けたきめ細かな支援を講じること。

6 種雄牛造成、繁殖雌牛整備体制の構築及び第13回全国和牛能力共進会対策

福島らしさを追求した育種牛（繁殖雌牛）の選抜・保留の推進及び福島県和牛育種組合活動に対する積極的な指導により、次世代を担う高能力種雄牛の造成及びゲノミック

評価並びにMUF A育種価評価を活用した基礎雌牛群整備体制構築のための支援や令和9年度北海道で開催される第13回全国和牛能力共進会へ向け、十分な県種雄牛交配頭数の確保と出品候補産子の積極的な保留導入の推進、優良繁殖雌牛の選定と出品に向けた指導体制の構築並びに「肉牛の部」出品候補牛を肥育農場に移管するための支援を講じること。

7 産業動物診療獣医師の確保定着対策

産業動物獣医師は、家畜の疾病治療や各種伝染性疾患の防疫対策にとどまらず、畜産農家の経営安定のための飼養・衛生管理指導を行うなど畜産業の維持発展に必要不可欠な存在であるが、本県における産業動物関係の獣医師は高齢化が進み、慢性的に不足している現状にあり、産業動物獣医療を希望する学生も少ないことから、新たな獣医師の確保について困難な状況が続くことも予想され、適切な獣医療の提供が難しい地域が生じることが見込まれる。安全で良質な畜産物を提供していくためには、安定的に獣医療を提供する体制の整備が必要であることを踏まえ、組織を超えた獣医学学生実習制度の構築、県と関係団体による合同説明会の実施及び産業動物獣医師確保に係る県修学資金貸与事業対象者の拡充等、産業動物獣医師の確保・定着に向けた支援を講じること。



要望書を手渡す沖野農林水産部長（右）と紺野会長（左）

市販発酵飼料給与による肉用牛の短期肥育試験について

福島県農業総合センター畜産研究所沼尻分場

通常、黒毛和種の去勢肥育では、約29ヶ月齢で出荷しますが、近年の配合飼料価格の高騰を受け、肥育期間の短縮による飼料費の低減を目指した飼育管理技術が注目されています。

短期肥育は、肥育前期、中期から後期にかけて出来るだけ多くの飼料を摂取させることで、約3ヶ月から4ヶ月程の飼養期間を短縮させても、通常の肥育牛と遜色ない仕上がりを目指しています。しかし、通常の肥育牛よりも多くの飼料を一度に摂取することとなり、消化器官に負担がかかることにより、喰い止まりや第一胃食滞などの病気に罹りやすくなってしまいます。

そこで、第一胃の負担軽減を目的とした醸造副産物を主

原料とした市販の発酵飼料を給与することが短期肥育に有効な飼養管理であることを確認しましたので、その概要についてご報告いたします。

試験に用いた供試牛は、全て沼尻分場産の黒毛和種去勢牛であり、令和3年7月～8月生まれの5頭を発酵飼料区、令和3年9月～10月生まれの5頭を対照区としました（表1）。

試験方法としては、発酵飼料区に生後3ヶ月から出荷まで1頭あたり毎日1kgの発酵飼料を与え、対照区は発酵飼料を与えずに飼養し、発育と飼料摂取量を調査しました（図1、表2）。

その結果、発酵飼料区は、対照区に比べて19ヶ月齢ま

で一日あたりの配合飼料の摂取量が多く、その後、漸減しました（図2）。

産肉成績については、枝肉等級は発酵飼料区が全てA-5、対照区がA-5（4頭）、A-4（1頭）となりました（表1、表2）。枝肉成績は、両区とも全ての枝肉形質で有意な差は認められませんでした。発酵飼料区でのバラツキは小さくなりました（表3）。

区	血 統			生時体重 (kg)	生年月日	産肉成績		
	父	母の父	母の母の父			枝重	BMS	等級
発 酵 飼 料 区	福之姫	美津百合	福寿幸	34	R3.7.12	514.5	12	A5
	芳之国	福平晴	高百合	25	R3.7.30	430.5	9	A5
	勝忠安福	美津照重	高百合	33	R3.8.1	506.0	10	A5
	勝忠安福	多久実	高百合	28	R3.8.11	525.5	10	A5
	多久実	勝忠安福	福栄	29	R3.8.23	481.5	10	A5
対 照 区	勝忠安福	勝平安	高百合	32	R3.9.18	478.5	9	A5
	勝忠安福	多久実	高百合	25	R3.9.22	446.0	10	A5
	芳之国	高百合	北平安	32	R3.9.28	590.0	11	A5
	福之姫	隆之國	高百合	36	R3.10.1	544.5	10	A5
	多久実	高百合	喜多平茂	39	R3.10.9	500.0	7	A4

表1 供試牛の構成

このことから、短期肥育を実施する上で発酵飼料の給与が有効であることが判りました。今回の試験結果を踏まえ、より効果的な飼養管理方法や肉質の向上等に向け、引き続き、短期肥育技術の開発に取り組んでまいります。

（本研究は、福島県とJAグループ福島による第Ⅱ期共同事業（コンソーシアム）の助成を受けて実施したものです）

短期肥育（出荷月齢26ヶ月齢未満）

育成：3～9ヶ月齢、肥育：10ヶ月齢～出荷

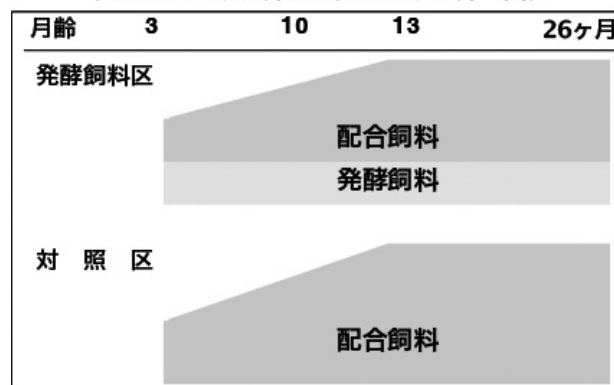
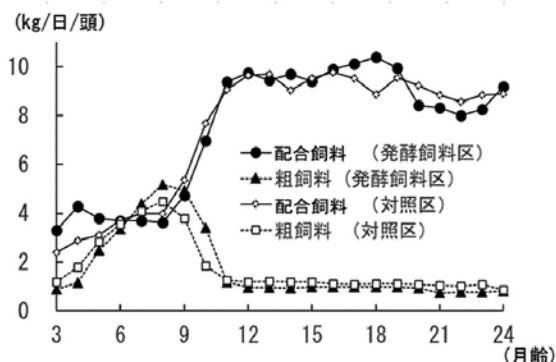


図1 供試牛の飼料給与イメージ

			育成		肥育															
					飼切替		前期				中期					後期			仕上期	
月齢			9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
給与 飼料 (kg)	肥育飼料	0.5→7.2		7.2(7.8)		7.8(8.4)		飽食 目安：8.8 (9.4)								目安：8.4 (9.0)				
	バイパス蛋白	0.5→1.0		1.0																
	発酵飼料	1.0 (0)																		
	稲わら	0→1.5		1.5	1.3	1.2		1.1			1.0			0.8		0.7				
設定 DG			1.16					0.98					0.77			0.64				

注意 発酵飼料区と対照区で給与量が異なる場合、() 内は対照区の給与量

表2 肥育期の飼料給与計画



注1 配合飼料(発酵飼料区) = 育成用飼料+発酵飼料+大豆粕+肥育用飼料。

注2 配合飼料(対照区) = 育成用飼料+大豆粕+肥育用飼料。

図2 1頭あたりの飼料摂取量の推移

	発酵飼料区 (5頭)			対 照 区 (5頭)		
	平均	標準偏差		平均	標準偏差	
と畜月齢	25.5	± 0.6		24.9	± 0.4	
枝肉重量 (kg)	492	± 38		512	± 56	
胸最長筋面積 (cm ²)	63.6	± 8.3		67.4	± 11.7	
ばらの厚さ (cm)	8.5	± 0.7		9.5	± 1.3	
皮下脂肪の厚さ (cm)	2.6	± 0.5		2.9	± 0.5	
歩留基準値	74.9	± 0.7		75.5	± 1.6	
BMS No.	10.2	± 1.1		9.4	± 1.5	
オレイン酸 (%)	56.6	± 1.4		55.5	± 2.5	
枝肉等級	A5 (5頭)			A5 (4頭)、A4 (1頭)		

表3 枝肉成績



(撮影時23ヶ月齢)

写真1 発酵飼料区の牛群

第40回 福島県ホルスタイン共進会開催！ 24頭が出品される!!

福島県乳牛改良推進協議会

福島県乳牛改良推進協議会（会長 岩谷金良）主催による第40回福島県ホルスタイン共進会（農林水産祭参加事業）が、10月19日（土）に本宮市の福島県家畜市場において開催されました。また、共進会開会式では、令和6年度優良酪農家選奨者を発表し、代表者を表彰しました。

当日は、雨が心配されましたが、晴天となり、天気にも恵まれ、日頃から手入れの行き届いた二十四頭の愛牛が県内各地より出品されました。審査委員長には福島県農業総合センター畜産研究所所長 山本みどり 氏、審査委員には一般社団法人日本ホルスタイン登録協会 審査課長 高橋貞光 氏を迎え、未經産三部門、経産三部門の計六部門に分かれ審査が行われました。

今大会は、40回という節目の大会であり、様々な催しを行いました。

昼食時に無料配布したミルク豚汁は、うつくしま福島mother'sクラブ e-ENにご協力いただき、200食を調理いただきました。そのほか、会場内で過去名誉牛の写真展示を行ったり、来場した方がどなたでも参加できる順位予想投票を行いました。

末筆になりますが、本共進会開催につきまして、福島県をはじめ関係団体、各業者の皆様からのご後援やご協賛を賜りました。まだまだ厳しい酪農情勢ではありますが、出品者・関係者の皆様のご協力のもと、無事に開催でき、心より感謝を申し上げます。



第40回福島県ホルスタイン共進会 褒賞牛 一覧表

区 分	出品番号	本 牛 名 号	生年月日	市町村	出品者 氏名	所 属
農林水産大臣賞 (グランドチャンピオン)	601	ユニオンデール オーサム エクスポート	R2.2.26	双葉郡浪江町	(株) T・ユニオンデールィ	福島県酪 浜
農林水産省 畜産局長賞 (リザーブチャンピオン)	405	ユニオンデール チーフ エチユバリア	R4.6.10	双葉郡浪江町	(株) T・ユニオンデールィ	福島県酪 浜
農林水産省 東北農政局長賞 (準リザーブチャンピオン)	302	エムブラック シド ロンペン	R5.2.17	岩瀬郡鏡石町	目黒 啓太	福島県酪 県中

部 別	受賞	出品番号	本 牛 名 号	生年月日	市町村	出品者 氏名	所 属
第1部	優等賞	103	バンダイデール CF ジャステイス	R6.1.22	耶麻郡磐梯町	足利 秀忠	福島県酪 県中
第2部	優等賞	205	アイデール メリット レネゲード メアリー	R5.7.29	双葉郡川内村	井出 淳	福島県酪 浜
第3部	優等賞	302	エムブラック シド ロンペン	R5.2.17	岩瀬郡鏡石町	目黒 啓太	福島県酪 県中
第4部	優等賞	405	ユニオンデール チーフ エチユバリア	R4.6.10	双葉郡浪江町	(株) T・ユニオンデールィ	福島県酪 浜
第5部	優等賞	505	サニーヒル ロード マーロン	R3.4.4	石川郡石川町	岩谷 金良	福島県酪 県南
第6部	優等賞	601	ユニオンデール オーサム エクスポート	R2.2.26	双葉郡浪江町	(株) T・ユニオンデールィ	福島県酪 浜

Jサイア娘牛優秀牛

区 分	出品番号	本 牛 名 号	生年月日	市町村	出品者 氏名	所 属
未經産牛の部	203	ウエストリウム コンシエルジュ スリーナイン	R5.8.4	西白河郡西郷村	小沢 正	福島県酪 県南

リードマンコンテスト

	出品番号	氏 名	所 属	
ベストリードマン	R-4	菅野 泰夢	会津よつば	酪農後継者
セカンドリードマン	R-2	小川 愛莉	福島県酪 県中	福島県立岩瀬農業高等学校

👑 グランドチャンピオン

農林水産大臣賞（第6部 優等賞）



「ユニオンデール オーサム エクスポート号」
双葉郡浪江町 (株) T・ユニオンデール

👑 リザーブチャンピオン

農林水産省畜産局長賞（第4部 優等賞）



「ユニオンデール チーフ エチユバリア号」
双葉郡浪江町 (株) T・ユニオンデール

👑 準リザーブチャンピオン

農林水産省東北農政局長賞（第3部 優等賞）



「エムブラック シッド ロンペン号」
岩瀬郡鏡石町 目黒 啓太

* 令和6年度 福島県牛群改良優良酪農家選奨者一覧 *

1. 牛群検定の部 国の乳用牛群検定事業の実施農家であり、前年度の検定終了成績が基準以上の優良酪農家。

令和5年度牛群検定成績より

安齋 洋志 (県酪 県北)
 柏原 忠仁 (JA福島さくら)
 遠藤 直人 (JAふくしま未来)
 岩谷 金良 (県酪 県南)

2. 牛群審査の部 牛群審査成績が優秀な酪農家。

令和5年度牛群審査成績より

20頭以上 (株)T・ユニオンデーリイ (県酪 浜) 岩谷 金良 (県酪 県南)
 20頭未満 (公財)郡山市観光交流振興公社 (県酪 県中) 足利 秀忠 (県酪 県中)

3. エクセレント獲得牛の部 体格審査で体格得点90点以上を新規及び3回以上獲得した牛の所有者。

令和5年度体格審査成績より

(株)T・ユニオンデーリイ (県酪 浜)	91点	サクランド サム エルビナ	6E
(株)T・ユニオンデーリイ (県酪 浜)	92点	T・ユニオン アフター エチユード	5E
足利 秀忠 (県酪 県中)	92点	バンダイデール ファイバー アライアンス	4E
井出 淳 (県酪 浜)	90点	アイデール エピ ジョーダン	
円谷 勝幸 (県酪 県南)	90点	サークルバレー ベイリー シルビア	
岩谷 金良 (県酪 県南)	90点	サニーヒル スモモ ミテイオ	
添田 勉 (県酪 県南)	90点	TOM カウンテーター ステファアー	
成田 昌弘 (JA会津よつば)	90点	フリーファーム ソロソロモンモン ソロモンモン	

4. 血統登録多頭申請の部 血統登録申請頭数上位者。

令和5年度血統登録申請頭数より

雪割牧場 有限会社 (県酪 県南)	124頭	株式会社 フェリスラテ (県酪 県北)	124頭
株式会社 佐久間牧場 (JA福島さくら)	87頭	ミネロファーム (県酪 県北)	65頭
鈴木 明彦 (県酪 県南)	65頭	円谷 勝幸 (県酪 県南)	49頭
有限会社 サトーファーム (県酪 県北)	36頭	岩谷 金良 (県酪 県南)	26頭
(株)T・ユニオンデーリイ (県酪 浜)	26頭	井出 淳 (県酪 浜)	24頭

5. 牛群改良の部 エクセレントを獲得した牛で、3代EX以上を獲得した所有者。

添田 勉 (県酪 県南) TOM カウンテーター ステファアー 90点
 母 TOM ファイバー ファツション 90点
 祖母 TOM アドベント リー ツルマツ 90点

6. 会長特別表彰 国内で初となる親子で5回エクセレントを獲得した所有者の表彰。

(株)T・ユニオンデーリイ (県酪 浜) 母 サクランド サム エルビナ 6E
 子 T・ユニオン アフター エチユード 5E

～第36回櫛隆祭出展～

(公社) 福島県畜産振興協会

令和6年10月20日(日)に開催された福島県農業総合センター農業短期大学校(矢吹町)第36回櫛隆祭において、うつくしま福島畜産mother'sクラブe-ENのメンバーとマザーズクラブのレトルト商品の販売出展をしました。

当日は天候にも恵まれ、各学科の展示やステージイベントが盛り上がりを見せる中、学校産のお米「天のつぶ」を使用した「ゴロ煮丼」・「カレーライス」や「シチュー」も大人気となり、初めての出店にも関わらず、新メニューのゴロ煮丼はリピーターさんも生まれました。

久しぶりの出展となりましたが、イベントへの出展を通じて、お客様とのいろいろな出会いがあり、直接交流できる

機会ですので、今後も積極的に活動していきたいと改めて感じました。今後も応援よろしくお願いいたします！



第13回全国和牛能力共進会北海道大会

日本の宝「和牛」の魅力と改良の成果を実証展示する大会として、第13回全国和牛能力共進会が令和9年8月26日～8月30日に北海道で開催されます。

福島県では、昨年度から出品対策委員会を設置し、「いざ

飛躍 未来へつなごう 福島牛」の出品スローガンを下に、種牛の部13頭（第2区～第6区、特別区）、肉牛の部8頭（第6区～第8区）の出品を目指して県内和牛関係者が一丸となって活動しております。

福島県出品対策スローガン 「いざ飛躍 未来へつなごう 福島牛」

福島県出品目標

「笑顔で終われる全共にしよう！」

【福島県の出品と出品区の詳細について】

※種牛：13頭、肉牛8頭

区 分	生年月日 出品月齢	種雄牛	頭数	交配期間	出品のねらい
1区（若雄）	令8.3.27～令8.6.26 14～16ヶ月未満				不参加
2区（若雌の1）	令7.9.27～令8.5.26 15～23ヶ月未満	隆福久 他、県有種雄牛	1頭	令7.6.15～9.14	改良組合活動の活性化による増頭意欲の向上とともに、全共参加者の拡大を促すことを狙いとした出品区です。（取り組みやすい出品区）
3区（若雌の2）	令7.12.27～令8.3.26 17～20ヶ月未満		1頭	令7.3.17～6.14	
特別区	令7.12.27～令8.6.26 14～20ヶ月未満		1頭	令7.3.17～9.14	農業教育とその学習活動を通じた和牛への理解醸成と担い手育成を目的とした区です。
4区（繁殖雌牛群）	3産以上		3頭1群		地域の特色ある雌牛集団づくりと改良組合（育種組合）活動による改良の成果の確認と技術向上を目的とした出品区です。
5区（高等登録群）	14ヶ月以上 ※孫娘牛は令8.6.26以前		3頭1群		母一娘一孫娘に亘る改良の成果の確認と優良雌牛系統の地域内保留推進と拡大を狙いとし、高等登録の意義を再確認する出品区です。
6区（総合評価群）	種牛：令7.8.27～令8.3.26 肉牛：令7.8.27以降	隆福久	種牛：4頭1群 肉牛：3頭1群	令6.11.15 ～6.14	第13回全共の花形区！！ 地域を担う種雄牛産子の出品で、種牛（雌牛4頭1群）と肉牛（去勢3頭1群）の出品により、種牛能力と産肉能力の両面において優秀かつバランスよく備えているかが評価されます。
7区（脂肪の質評価群）	令7.8.27以降	麓山白清 姫白鵬72の3	3頭1群	令6.11.15 ～12月末	和牛肉の新たな価値観として、脂肪の質「美味しさ」を追求する出品区です。
8区（去勢肥育牛）	令7.8.27以降	福弥生 麓山白清 姫白鵬72の3	2種雄牛で2頭	令6.11.15 ～12月末	和牛の持つ能力の追求！！効率的でかつ美味しい和牛肉生産を目指し、改良された和牛の能力と肥育技術により、和牛の魅力を最大限に引き出すことを目的とした出品区です。



【第6区交配種雄牛】

【第7区・8区交配種雄牛】

そして、いよいよ11月から肉牛の部候補牛の取得交配が始まり、令和7年3月には種牛の部候補牛の交配も控えております。

「福島牛」を盛り上げるために、和牛生産者の皆様のご協力のほど宜しくお願いします。

第13回全国和牛能力共進会北海道大会



皆さんの力で「ふくしま」を
盛り上げよう！

○第1期（肉牛の部）取得交配期間

令和6年11月15日～12月末まで

交配のご協力をお願いします。

生産者育成研修会を開催

(公社) 福島県畜産振興協会

令和6年9月19日福島県農業総合センター畜産研究所沼尻分場（猪苗代町）において、うつくしま福島畜産mother'sクラブe-E Nの皆さんを対象に生産者育成研修会を開催しました。

県農業総合センター畜産研究所肉畜科の堀江研究員及び沼尻分場齋藤主任研究員の両名を講師に、第一部「AIを活用した超音波画像診断について」第2部「子牛の飼養管理」について講演を頂きました。

研修会では、肥育牛2頭を実際に超音波で測定～AIへのデータ取り込み～診断結果の説明と一連の流れと各ポイントを研修することができました。子牛の飼養管理についても、良く見る事、衛生管理の徹底が重要など、基本的なことでも改めて重要性を再確認することができました。

現地研修では、講義だけでなく実際に見る事が出来、わかりやすく説明していただいたので理解も深まり、とても充実した有意義な研修を実施することができました。研修会開催にあたり県畜産研究所沼尻分場様には数々のご協力を賜りましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。



超音波画像測定の様子



「子牛の飼養管理」講義の様子

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL: 0243-33-1101(代)



動物と人の間に、いつもゼノアック。



日本全業工業株式会社
 福島県郡山市安積町飯川字平ノ上1-1
 ZENOAQ www.zenoaq.com



肉用子牛生産者補給金制度発動状況

令和6年度第2四半期（令和6年7月～9月）

（単位：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳 用 種	交 雑 種
保 証 基 準 価 格	564,000	514,000	328,000	164,000	274,000
合 理 化 目 標 価 格	444,000	404,000	258,000	110,000	216,000
平 均 売 買 価 格	498,900	649,800	—	201,700	299,500
補 給 金 単 価	65,100	—	—	—	—

※「その他の肉専用種（日本短角種等）」については、令和2年度より算定期間を1年（4月～3月）としています。

令和6年度第2四半期においては、黒毛和種について、平均売買価格が保証基準価格を下回ったことから生産者補給金（単価：65,100円／頭）が交付されることとなりました。

優良和子牛生産推進緊急支援事業発動状況

令和6年10月15日付け機構より公表された平均価格は以下のとおりです。

今期は、黒毛和種（兵庫県を除く）について、平均価格が発動基準価格を下回ったため、飼養管理向上の取組数に応じて、下記の通り奨励金が交付されます。

福島県においては東北ブロックのため奨励金の発動基準はCとなります。

令和6年7月～9月分

1 発動基準価格及び平均価格

（単位：円／頭）

品種・ブロック名		発動基準価格			平均価格	奨励金発動基準
		A	B	C		
黒毛和種	北海道	600,000	580,000	570,000	553,145	C
	東北				501,095	C
	本州関東以西・四国 （兵庫県を除く）				519,701	C
	兵庫県				921,175	—
	九州・沖縄				484,835	C
褐毛和種		550,000	530,000	520,000	649,800	—
その他の肉専用種		350,000	330,000	—	—	—

2 発動基準ごとの奨励金単価

（単位：円／頭）

品 種	奨 励 金 単 価			
	発動基準	取組数 2	取組数 3	取組数 4 以上
黒毛和種	A	10,000	10,000	10,000
	B	10,000	20,000	20,000
	C	10,000	20,000	30,000

注1：黒毛和種の平均価格は、肉用子牛生産者補給金制度の対象となる6ヶ月齢～12ヶ月齢の肉用子牛の指定市場における取引価格を用い、要綱別表1に定めるブロック別、四半期ごとに算出し、全国平均に対して著しく高い価格（偏差値70（平均＋2標準偏差）以上）となる都府県（今回は兵庫県が該当）はブロック別平均価格の計算から除外します。褐毛和種については、全国で、四半期ごとに算出します。

その他の肉専用種については、令和6年4月～令和7年3月までの取引価格を用いて全国の平均価格を算出します。

注2：発動基準価格及び平均価格は消費税込みです。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度） 発動状況

(単位：円／頭)

販売月		肉専用種 (東北ブロック福島県)	交雑種 (全国)	乳用種 (全国)
令和6年7月	確定単価	100,521.0	38,994.3	49,389.3
	概算払い単価	93,521.0	31,994.3	42,389.3
	精算払い単価	7,000.0	7,000.0	7,000.0
令和6年8月	確定単価	163,073.7	3,827.7	53,922.6
	概算払い単価	156,073.7	0.0	46,922.6
	精算払い単価	7,000.0	3,827.7	7,000.0
令和6年9月	確定単価	113,536.8	5,550.3	52,113.6

※生産者負担金の猶予対象牛(コロナ対策)については支払い交付単価の3/4の支払となります。

※R4. 7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(024)631-2488

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎(024)553-6678

日本全薬工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上一
☎(024)945-1306

株式会社アグロジャパン
南東北営業部(福島)
郡山市開成六丁目六七一
☎(024)954-4171

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川一五
☎(024)577-3222

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎(024)631-2488

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう』

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地(福島県畜産振興協会内)

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしく
はちみつはいかが！

品質と信頼の

くみあい配合飼料

JA全農グループ

JA全農くみあい飼料株式会社

北日本事業本部

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040 (代表)

南東北支店 福島営業所

〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

家畜取引状況報告

令和6年9～10月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
9	雌	227	903,100	144,100	444,115	290	1,531	289	145	129
	雄									
	去勢	422	845,900	110,000	539,304	320	1,688	284	219	201
	計	699	903,100	110,000	501,722	308	1,629	286	364	330
10	雌	306	915,200	42,900	437,753	293	1,495	293	172	130
	雄									
	去勢	399	947,100	112,200	578,378	324	1,787	288	202	195
	計	705	947,100	42,900	517,622	310	1,668	290	374	325

令和6年9～10月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
9月 第347回	ホル雄	60	67,100	1,100	34,797
	ホルフリー	4	14,300	1,100	6,600
	F ₁ 雌	71	179,300	1,100	101,572
	F ₁ 雄	63	182,600	19,800	112,514
	和牛雌	19	323,400	75,900	245,995
	和牛雄	37	440,000	181,500	305,423
	計・平均	254	440,000	1,100	126,103
10月 第348回	ホル雄	52	57,200	1,100	15,853
	ホルフリー	1	1,100	1,100	1,100
	F ₁ 雌	65	129,800	1,100	67,719
	F ₁ 雄	86	141,900	1,100	75,683
	和牛雌	24	269,500	171,600	217,465
	和牛雄	49	418,000	74,000	242,023
	計・平均	277	418,000	1,100	108,861

令和6年9～10月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
9	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	3	322,300	286,000	300,666	3,329	90
	E T 和雄	5	398,200	277,200	353,760	3,647	97
	乳雌牛						
	乳雄牛	21	66,000	1,100	29,909	394	76
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	44	127,600	1,100	73,956	1,026	72
	F ₁ 雄(スモール)	43	146,300	23,100	104,602	1,433	73
	計・平均	116	398,200	1,100	95,451	1,278	75
10	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	1	277,200	277,200	277,200	2,410	115
	E T 和雄	4	441,100	165,000	309,650	2,533	122
	乳雌牛						
	乳雄牛	23	26,400	1,100	11,096	135	82
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	46	139,700	4,400	96,355	1,262	76
	F ₁ 雄(スモール)	45	193,600	1,100	98,096	1,230	80
	計・平均	119	441,100	1,100	88,976	1,101	81

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目3番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(12月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	⑥	月	火	水	木	金	土	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚
ニュートラック福島			水	沢	名	古屋				水	沢	川	崎			水	沢	名	古屋				水	沢	浦	和	大	井		水	沢
オーブス磐梯																															

(1月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼
ニュートラック福島			川	崎			金	園	田	浦	和	金				金	園	田	浦	和			金	園	田	浦	和	大	井		
オーブス磐梯																															

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



JRAはJ-PLACE発売日（発売レースは後半4レース）

地方競馬全国協会